

神奈川県横浜市 神奈川県立横浜翠嵐高等学校

改修後



本棟1F男子トイレ。以前清掃用具入れだったスペースをつなげて広めブースを設計。温水洗浄便座を採用した。



本棟1F女子トイレの洗面コーナー。自動水栓を採用した。奥に見えるドアの先は男女共有の洗面台があるトイレ前室。



本棟1Fトイレ前室。右側はみんなのトイレ(幅2.3m×奥行3m)で広々としたつくりになっている。



本棟1Fみんなのトイレ。温水洗浄便座はもちろん、洗面器はカウンター一体形で自動水栓を設置。



本棟2F男子トイレ。小便器は自動洗浄。足元の床には汚れや臭いなどの抑制効果が高い汚だれ石を採用。



第2棟1F男子トイレ。小便器の数を減らすことなく6基を維持。正面の障がい者トイレ内は温水洗浄便座とした。

洋式化で『みんなのトイレ』を新設し
一般個室にも温水洗浄便座を設置

2020年で創立106年となる横浜翠嵐高等学校。本棟は1961年築、第2棟は1967年築。大規模改修として配管工事を含む校舎トイレの改修が行われました。洋式化を基本に、温水洗浄便座や自動洗浄小便器、自動水栓を導入したばかりでなく、男女どちらでも利用でき、車いす利用者にも配慮した「みんなのトイレ」が誕生しました。(写真提供：神奈川県教育委員会)

改修前



本棟2Fトイレ。男女とも共通で和式便器の3個室が並んでいた。床もそうだが、紙巻器も破損している。



本棟の男子トイレ。小便器下の床の損傷が激しい。



本棟2F女子トイレの洗面台。配管がむき出しで床の傷みも目立ち、常に湿っている印象がある。



第2棟女子トイレ。長流しは昔ながらのハンドル水栓だった。

神奈川県立横浜翠嵐高等学校 DATA

名称：神奈川県立横浜翠嵐高等学校
所在地：神奈川県横浜市神奈川区三ツ沢南町1-1
生徒数：全日制1,058名 定時制175名(2020年4月)
施主：神奈川県
設計・施工：タック都市開発研究所
竣工年月：2019年3月(改修)



写真は同校ホームページより

本棟1Fトイレ 洋式化・乾式化改修により、快適性や清潔性が格段に向上した。便器数を変えることなくスペースを工夫した他、「みんなのトイレ」を新設。

